

成果指標				
成果指標	当該年度の林道整備・除間伐材出荷促進事業実施体積+森林環境保全整備事業実施面積/昨年度の林道整備・除間伐材出荷促進事業実施体積+森林環境保全整備事業実施面積×100			
指標設定の考え方	森林の環境整備に直接影響する3事業について、各達成指標を連乗し昨年度の実績と比較することで効果を測る。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	100%以上	100%以上	0	0
実績	72.5%	100%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	各事業に対して、適切に補助金の支出を行った。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	林道整備・除間伐材出荷促進・森林環境保全整備事業実績は、前年度に比べ3事業とも増加しており、林業者等の経営安定と合理化を図るうえからも、引き続き事業推進を積極的に行い実施する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会による外部評価抽出事業につき、外部評価に付する。

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<p>・林道と農道の整備について、重複しないよう調整してほしい。・伊予市は中山・双海エリアを含め森林資源の多い地域である。林業振興は非常に大事な事務事業だと思う。間伐面積や森林整備、林業の後継者を何人出すとか、数値目標をもって、それに基づき森林組合に協力してもらい体制を取るべきである。・クラフトの里との連携や、ペレットなどのバイオ燃料など、地域内でうまく循環できる「育てる林業」という格好に成りきるべきであり、市は有効に活用するプランをきちんと持って林業振興を考えないといけない。・林道整備が最優先である。担当者が変わっても運用できる、要綱それ自体のものさしが必要だと思う。</p>
---------------------------	--

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>現状のまま継続する。</p>
<p>意見、課題</p>	